

2024（令和6）年度 社会福祉法人富山聖マリア会 法人本部事業報告

法人本部の収入は、経常経費寄附金収入及び受取利息配当金収入からなっている。また、支出に関しては役員の報酬や、会議交通費や本部（マリア館）の修繕費、郵便代などの通信運搬費、出版物印刷費などの広報費、調停関連や除雪費用などの業務委託費の内訳となっている。

2024年度の寄附金収入額は予算や前年度と比較して大きく減少（予算比；37.0%、前年度比；36.1%）していて、支出額は予算や前年度と大きく変わらない為、収支差は大きくマイナス決算（約-76.8万円）となっている。

支出の内訳でみると、人件費で予算額の約85.5%（前年度とは同額）であり、事務費で予算額の約86.9%（前年度の約113.3%）となっている。

その結果、2024年度の収支差がマイナス約198.7万円（予算比；約-59.6万円）となった。

令和6年度の感染症対策や除雪対策の費用については、事務費で減少傾向となるも諸雑費等で増加がみられ、全体としては収支差のマイナス幅が大きくなっている。

令和6年度は、各事業所の収支も低調な傾向にあり、繰入金による収益も減少が見込まれるので、次年度以降、寄附など収入の増加に向けた働きかけが必要となろう。

2024（令和6）年度 幼保連携型認定こども園富山聖マリア保育園事業報告

《基本理念》

児童福祉法に基づき、キリスト教精神をもって幼児に接し、豊かな人間性を持った子どもを育成することを目指した。

- ・一人ひとりの人格を尊重し、可能性を信じて、その成長を支援した。
- ・保護者や地域社会の多様なニーズに応え、サービスの向上に努めた。
- ・健康、安全で情緒の安定した生活ができる良い環境を作りました。

《教育保育目標》

- ・祈り、感謝し、素直に謝ることができる子（「ありがとう」が言える子）
- ・友達と仲良く遊び、世界と自然を愛する子（「ごめんなさい」が言える子）
- ・聴く、話す、創る、手伝うことができる子（喜んで参加できる子）
- ・やさしく受容する。
- ・あせらないで結果を求めない。

《教育保育方針》

- ・子どもの個性と人格をありのまま受容し、様々な欲求を適切に満たします。
（子どもも大人も神の前に共に生きる存在であるという人間理解に立ち、個別配慮児などの子にも、まったく同じように接します。）
- ・絶えず笑顔で、子どもとの信頼関係を築き、自立を促し、個々の能力を引出します。
（言葉への関心を育て、友達作りや基本的な生活習慣獲得の援助をします。）
- ・子どもの好奇心や探究心を大切に受けとめ、共に心を動かします。
（自然や生き物の恵みに共に感動し、遊びや製作に創意工夫をします。行事などのマンネリ化を防ぎ「見直す」勇気を持ちます。）
- ・大切な命を預かる仕事であるから、健康と安全には最大限配慮します。
（健康状態や虐待の有無を絶えずチェックし、園内外環境の安全点検をします。）
- ・保護者と十分な信頼関係を築く努力をします。
（保護者の話や苦情を傾聴受容し、十分な情報交換をします。）

《教育保育計画・教育指導計画立案の留意点》

- ・保育園部、幼稚園部どの部分にも基本理念、教育保育目標、教育保育方針が組み込まれ、「子どもにとってはどうか」を基本に、何を育てたいかを明確に示す。
- ・令和6年1号認定（幼稚園部）として2歳児0人3歳児2名4歳児3名5歳児0名合計5名。
- ・幼稚園部保育園部と保育時間が違う為行事又は活動は、幼稚園部が通う時間帯9時～14時45分に年齢別活動を行いこどもに違和感を与えない様配慮した。

(1) 定員 130名

(2) 在籍人数 () は、幼稚園部

	乳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
2023年度	15	23	25(1)	21(1)	25(1)	24(1)	133(4)
2024年度	17	22	23	27(2)	22(3)	23	134(5)

(3) 職員数・職種別 () は2023年度の人数

園長	チャプレン	主幹・副主幹 保育教諭	保育教諭 指導保育 教諭	看護師	栄養士 調理員	講師及び 事務員	合計
1(1)	1(1)	2(2)	20(18)	2(2)	6(6)	14(12)	46(42)

(4) 一時預かり事業(定員1日12名)利用日数は()で記入

一時的に子どもを預かり保育する。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
2023年度	23(13)	1(13)	6(12)	0	4(11)	1(3)	
2024年度	0	1(1)	2(16)	0	2(4)	1(3)	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2023年度	3(3)	1(8)	1(1)	24(3)	36(5)	18(5)	118(77)
2024年度	2(3)	1(1)	1(1)	0	2(6)	3(12)	15(47)

2024年度月平均1.3人 2023年度月平均15.7人

(5) 病児病後時保育事業(定員1日・4名)利用日数は同じです。

一時的に病児室で預かる自園型病児保育を行う

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
2023年度	12	19	37	17	18	31	
2024年度	9	14	8	21	18	19	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2023年度	23	21	58	24	29	20	309
2024年度	16	13	38	7	7	3	163

2023年度月平均25.8人 2024年度月平均13.6人

(6) 保健防災計画

内科、歯科検診及び寄生虫の検査を全園児に実施する。職員の健康診断は法規に従って実施する。交通安全訓練、避難消火訓練は毎月1回行い防災の意識を高める。

(7) 職員研修計画

- ・各団体が主催する研修並びに富山市保育連盟の研修会に参加する。
- ・園内研修では、臨床心理士を招き毎月1回の保育事例研修会を継続して行い資質の向上を計る。

(8) 職員会議

- ・毎朝、子どもたちの為の祈り後、日々の打ち合わせ会を持つ。
- ・毎月1回全体会議を開催し、行事の確認、子どもの姿・発達について話し合う。
また、看護師、調理員の意見を聞く。必要に応じてリーダー会議、副リーダー会議、パート会議、B会議など行い資質向上を計る

(9) 行事等

月	行事名	行事名	行事名	行事名
4月	進級式	入園式		
5月	歯科検診	内科検診	親子遠足	
6月	花の日礼拝	プール遊び	すぎのこ人形劇	
7月	プラネタリウム鑑賞	七夕の会		
10月	3, 4, 5歳児 家族の集い(運動会)	2, 3, 4, 5, 歳児遠足	内科検診	ハロウィンパーティー
11月	歯科検診	収穫感謝祭	乳幼児祝福式	アドベント始まる
12月	年末特別教室	5, 4歳児クリスマス会	3歳児クリスマス会	0, 1, 2歳児 クリスマス会
1月	個人懇談会			
2月	豆まき	仲良しパーティー		
3月	おひな様会	ありがとうの集い	卒園式	タイムカプセル

(10) その他

- ・100万以上の修繕はありません。修繕費として便座の取り換え、あみ戸の張替え、棚の修理などありました。
- ・2024年度より新しくコドモンで写真販売をしました・印刷された配布資料についてはコドモンにて知らせるよう変更しています。

2024（令和6）年度 富山市民病院院内保育所事業報告

1・園児数 定員 36名

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
2024	20	20	20	20	22	24	
2023	13	13	14	15	16	20	
年度	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
2024	25	25	28	30	30	32	24.7
2023	26	27	31	34	34	34	23.1

2・職員

	所長	保育士	看護師	栄養士	パート保育士	家庭的保育者	合計
4月	1名	5名	2名 (4時間パート1名)	1名	2名(毎日が2名)	1名	12名
3月	1名	5名	2名 (4時間パート1名)	1名	4名 (週4日が1人)(毎日が3人)	1名	14名

3・保育内容

- ◇ 『豊かな人間性を持った子どもをめざして』という保育目標のもと、一人ひとりの子どもとゆったりと関わり、その子に合った援助に努めた。
- ◇ 院内保育所というメリットの中、子どもの幸せ、保護者の思いを充分に受け入れて保育に専念していった。
- ◇ 様々な感染症の拡大を避けるため、手洗い・消毒など児童・職員に徹底した。
- ◇ 5月8日以降は例年の行事に戻していった。
- ◇ 第2・4土曜日保育を行った。夜間保育、準夜保育の利用はなかったが、金曜日母親が準夜勤務で、子どもがそれに合わせて登園し、父親が20時に迎えに来るといった利用があった。
- ◇ 病児保育では小児科と統一見解を持ち行えるよう、連携を取った。院内保育所の児童ばかりでなく、市民病院の職員の方の院外の保育所に通っている未就学児童も預かった。
- ◇ 富山市の要請に伴い、トワイライトステイ(夜間保育)を受け入れる。今年は1件要請があったが、利用はなかった。
- ◇ 職員会では、クラス状況を話し合い、全園児について共通理解を深め、気になる児童に関しては何度もケース会議を開くと共に、喜田先生(富山聖マリア保育園カウンセラー)にも相談しながら、解決策を探っていった。また、児童の健やかな成長を願いながら、保護者の方と連携を取りつつ保育に努めていった。

2024（令和6）年度 特別養護老人ホーム常楽園 事業報告

一人ひとりの職員が「信・望・愛」を基本精神とし、信じあう生活、希望のある生活、愛しあう生活の実現を通して、園を利用される方々に悦びと安心と安全が感じられる環境の提供と家庭的な雰囲気づくりを目指します。

1. 特養ホーム状況

2024（令和6）年度は、常楽園において一作年から始まった組織改編の動きにより各種規則・規程の改定が行われ、それに伴って職員全体の人的体制や委員会組織の再編成が進んだ。

また、通年に渡って、富山聖マリア会の「地域福祉推進計画策定」が隔月ペースで地元や富山市内で開催され、計画の具体的絞り込みが行われた。

人材確保の面では、上市町における自治体や中学・高校など教育機関との連携による取り組みや、介護・看護の新人採用と外国人特定技能者の育成・指導及び新規採用が進んだ。

そして、新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、入所者の感染症対応が和らぎ、家族の直接面会が毎日継続して行われ、ボランティアの受入れも徐々に進んだ。

(1) 規則・規程の改定

2024年度に入ってから、就業規則を始め、給与規程、人事評価規程、表彰規程、運営規程等の一部改正が行われ理事会の承認を得て実行に移された。

(2) 人材の確保

2024年度は、介護職員として若い職員の中途採用の試みが行われたり、一旦離職した2名の戻り就職もあった。また新たな特定技能者として外国人2名の採用が行われ、技能実習生からの滞在資格変更の2名と合わせて6名の体制となった。

(3) 常楽園入居者ケア環境改善の取り組み

- ① オンコール体制の改善：ドクターメイト連携
- ② 夜間救急搬送の取り扱い：職員輪番体制の試行
- ③ NPO 法人「富山成年後見支援センター」との取り決め

(4) 地域福祉推進計画策定（法人全体）

年間を通して6回に渡り、上市町や富山市の施設持ち回りで、委員会が開催された。その中で、計画のプランニングや取り纏めが行われ、自治体や社協と情報共有が行われた。10か年計画として始められ、今後実践に向けた取り組みが進められる予定である。

(5) 災害対策と事業継続計画の立案

災害時の対応に関して、備品等の整備と避難訓練の実施を進めた。今後は、更に行政や医療機関との連携や電気やガスのエネルギー確保対策必要となってくる。

2024/2023 年度 ホーム在籍者数 定員 80 名

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
在籍者数	2024	80	82	80	81	78	77	77	78	78	76	77	79
	2023	77	78	78	78	80	79	79	80	78	79	79	80

※2024 年度；月平均 78.6 人 (2023 年度；月平均 78.8 人)

2. 短期入所者 (ショートステイ) 状況

2022 年度の 5 月まで続けて来た入所者の受入れを 6 月から休止した。

2023 年度に引き続き 2024 年度も、特養ホームの在籍人数を定員 80 名に近い状態で維持し、ショートの受け入れ休止を続けた。

コロナ感染症も 5 類に分類される中、徐々に職員体制の整備を目指しながら、ショートステイの復活を計りたい。

2023/2022 年度 ショート利用者数 定員 20 名

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
利用者数	2024	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	2023	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

※2024 年度；一日平均 0 人 (2023 年度；一日平均 0 人)

3. 職員配置 () 内前年同期入所定員：80 名、ショートステイ定員：20 名 2025 年 3 月

施設長 (園長) (デイ兼任)	1 (1)	非常勤介護職員	12 (11)
事務長 (副園長)	1 (1)	非常勤事務職員	1 (1)
総務職員	2 (2)	夜勤専門員	2 (2)
主任生活相談員	1 (0)	運転パート職員	0 (0)
介護支援専門員/生活相談員	2 (2)	洗濯パート職員	3 (3)
介護職員	15 (15)	宿直パート職員	3 (3)
看護職員	4 (3)	嘱託産業医	1 (1)
介護職員兼保全管理	2 (2)	嘱託医師 (内科、精神科)	2 (2)
管理栄養士	2 (2)		
特定技能者 (ミャンマー)	2 (0)	合計	60 (56)
特定技能者 (ベトナム)	4 (3)		

4. 医務報告

通常の内科回診、精神科回診の対応、研修医の受入れ、日常の通院、救急対応、入院対応、投薬に加え、新型コロナウイルス感染症等の対応に追われた。施設内の消毒や換気等の指導・実施にも配慮した。また、入所者のワクチン接種や健康診断も実施した。年度当初には「安全衛生管理計画」の策定を行い、毎月一回安全衛生委員会を産業医にご出席頂き開催した。

2023/2022 年度 入院者数 (実人数)

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
入院者数	2024	2	6	4	4	4	2	1	6	7	8	11	10
	2023	5	3	4	4	4	7	1	6	5	5	3	4

※2024 年度 月平均；5.4 人 (2023 年度； 月平均 4.3 人)

5. 給食・運転・洗濯業務報告

給食については、食器洗浄機や冷蔵庫等の大型備品が老朽化し、新たな購入を求められていて、順次買替えに向けた整備が必要となって来ている。また、物価高騰による食材費の値上げや燃料費の増額に対応し、ご家族の負担増について告知した。委託会社との話し合いにより理解を得た上での対応となった。また、中部厚生センターの点検から安全管理面での指導があり、改善点が通箇所指摘された。

運転体制は2024年度も1名の（運転）職員のみでの対応となり、通院のほか入所者や冬季積雪時の外国籍職員（自転車通勤）、そして営繕（保全・管理）の業務も兼ねて担当した。

洗濯職員は通常の洗濯業務を中心に、次年度に向け、今年度まで業者委託して来た館内の清掃業務肩代わりや建屋周辺の環境整備及び修繕業務の一部補助にも携わる予定にしている。

6. 設備・備品メンテナンス、環境整備など（主なもの）

- 空調/給湯管 保守・点検（北電ビズ・エナジーソリューション及びサプラ）
- 電気設備巡視点検（日本テクノ）消防設備（おみでんき、ホクシンシステム）
- ICT 関連機器メンテナンス（サンシックス）
- 庭木剪定、草刈り、雪吊り、藤棚補修など（ガーデン・ユウ、石坂氏）
- 厨房備品買い替え、メンテナンス（野原厨房）

7. 修理・修繕

- （能登地震被害による）館内壁の亀裂補修（すまい・る・スペース、今村氏）

8. 保険関係

- ①総合保険（新生保険サービス）
- ②火災保険（JIC 金沢）

9. 外国籍職員監理団体

- ①フレンドリー・ジャパン（ミャンマー技能実習生2名※3月から特定技能者）
- ②ゲン タン ダン氏（ベトナム特定技能者4名）

10. 委員会等実施状況

- (1) ケアプラン検討会；月2回
- (2) 園内協議会、安全衛生委員会、リーダー会議；各月1回
- (3) 入退所検討委員会；年4回
- (4) 高齢者虐待防止委員会
- (5) 身体拘束廃止委員会
- (6) 新聞・写真委員会
- (7) 事故防止委員会
- (8) 褥瘡予防委員会
- (9) 排泄委員会
- (10) サービス向上委員会/パート職員ミーティング
- (11) 人材研修委員
- (12) 感染症対策委員会
- (13) 栄養ミーティング
- (14) 面会・行事・ボランティア委員会
- (15) 施設内研修（各種）
- (16) 園礼拝：対面（柳原健之；富山聖マリア教会牧師）
- (17) 職業を知る会（上市高校）

2024（令和6）年度 常楽園デイサービスセンター事業報告

1. 運営概況

2024（令和6）年度、デイサービスの運営について、職員の人員配置が落ち着き、ご利用者の受入れを増やす取り組みをして来ました。

ご利用者のご家族から、ご利用者の「看取り同意書」を頂き、バイタル及び身体状況を確認しながら利用して頂いています。

職員全員がズーム研修にも取り組み、知識や技術の向上などを図ってきました。

リハビリを希望される方には、平行棒で歩行訓練し、簡単な機能訓練を継続して行っています。また、肩、足、腰などの疼痛の軽減、そして癒しのひとときになればと、マッサージも継続して実施しています。

入浴は一般浴、特殊浴槽の2か所を作動させ、「気持ちよかった」とか、「ここの風呂温まる」などと、職員とコミュニケーションを図りながら入浴されています。

そして、デイサービス BCP マニュアルに沿って、災害や感染症対策にも取り組んでいます。

地域のケアマネージャーさんとの連携を取り、在宅介護されているご家族を支援しています。

また、2025年4月からは、「お試し1日体験」を開始します。ご利用者が安心してご参加頂けるように職員一同配慮しながらケアを続けます。

2. 2024/2023年度 デイ利用者数比較

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
利用者数	2024	217	238	201	224	203	200	213	183	186	178	145	140
	2023	182	251	252	239	258	229	243	220	195	166	185	186

※2024年度；一日平均 9.0 人（2023年度；一日平均 11.4 人）

3. 2025年3月31日職員構成

① 管理者	1名（兼任）
② 生活相談員	2名（1名兼務）
③ 介護職員	1名
④ 介護職員兼運転手	1名
⑤ 看護職員兼機能訓練指導員（リーダー）	1名（生活相談員兼務）
⑥ マッサージ師	1名
⑦ 非常勤介護職員	5名
⑧ 非常勤看護職員	1名
計	12名（兼務除く）

2024(令和6)年度 常楽園サービス事業報告

実践報告

- ・居宅サービス計画書を作成するにあたって、ご利用者の心身の状況や生活状況を勘案し、ご利用者やご家族の意向を尊重した上で、住み慣れた地域で自立した生活を送れるよう、ご利用者の立場に立った居宅サービス計画書を作成し支援を行った。
- ・地域包括支援センターから介護予防プランの受託を積極的に受け、地域包括支援センターと協働し支援を行った。
- ・様々な事情を抱えているご利用者に対して、適切な判断・行動がとれるよう地域ケア会議や個別会議へ積極的に参加し、援助技術のアプローチや多職種連携の重要性、制度の熟知に努めた。
- ・苦情の訴えは無く経過した。

実績報告 2024年度 常楽園サービス利用者数

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
実利用者数	2024	70	60	63	61	60	59	64	61	61	61	61	61
	2023	64	67	73	71	72	67	65	62	61	59	60	60

2024年度 月平均：61.8人（2023年度：65.1人）

2025年3月31日職員構成

常楽園サービス管理者	1名（兼務）
① 主任介護支援専門員	1名
② 居宅介護支援専門員	1名